

Wi-Fi 防犯カメラセット
ALWSET-YG500/300/YG220

取扱い、説明書



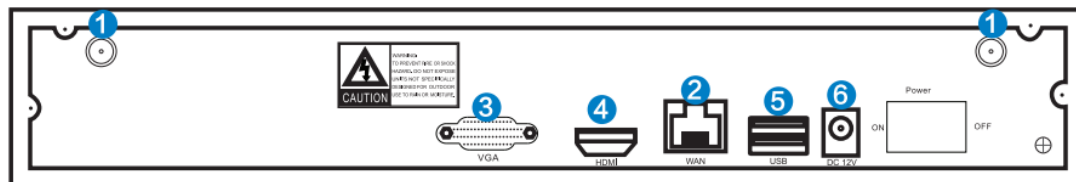
無線機を使用する場合、特定無線設備の技術基準適合証明書等のマーク(技適マーク)を取得した商品を使用する必要があります。技適マークを取得していない製品を使用すると法令により罰せられることがあります。
本製品はカメラ・録画機ともに技適マークを取得しております。



使用上の注意

1. レコーダーとカメラを電源タップに接続すると電圧が不足する事がございます。
レコーダーは必ずコンセントに電源アダプターを接続してください。

NVR（レコーダー）の接続端子



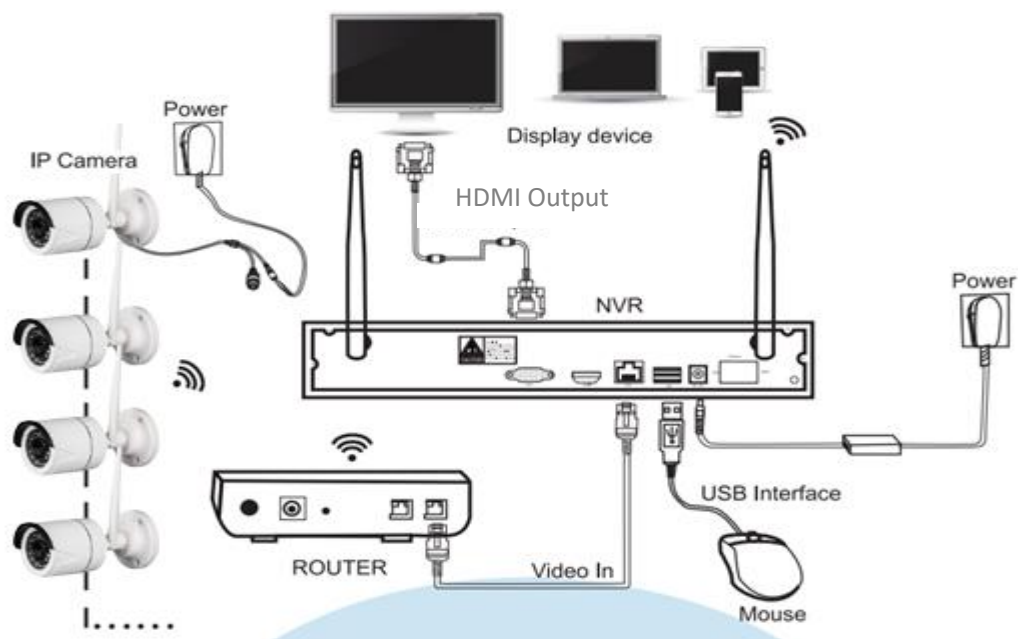
- 1、WIFI アンテナ:WIFI アンテナを接続します。
- 2、LAN ポート:レコーダで遠隔監視をする時に使用します。
- 3、VGA 出力:外部モニターを VGA ケーブルで接続する時に使用します。
- 4、HDMI 出力:外部モニターを HDMI ケーブルで接続する時に使用します。
- 5、USB ポート:マウス接続やバックアップ用のフラッシュメモリーの接続に使用します。
- 6、電源端子：電源アダプタを接続します。

カメラの接続端子



1. WIFI アンテナ：カメラのアンテナを接続します。
 2. DC ポート：12V1A の電源アダプタを接続します
 3. RJ45 Port：カメラとレコーダのペアリングを行う場合や、LAN ケーブルでカメラを接続する場合に使用します。
- ※本商品は既にペアリングが済んだ状態で出荷されますので、必ずしも RJ45 ポートを使用する必要はありません。

接続方法



- 1、カメラに付属品のアンテナを接続します。
- 2、HDMI ケーブルを使用して外部モニターに接続します。
※HDMI ケーブル、モニターは付属していません。
- 3、12V3A の電源アダプタをレコーダーに接続します。
- 4、12V1A の電源アダプタをカメラに接続します。
- 5、カメラ映像がモニターに表示されます。
- 6、レコーダ背面の USB ポートにマウスを接続します。
- 7、インターネットに接続する場合はレコーダ WAN ポートとルータを LAN ケーブルで接続します。

注意：

レコーダはルーターと無線で接続することは出来ません。必ず LAN ケーブルを使用してください。

画面操作時に ID とパスワードを求められます。

初期値は以下の通りです。

ID:admin

Password:なし

(パスワードの項目を空欄でログイン出来ます。)

パスワードは以下から変更も可能です。

システム設定→システム管理者→ユーザー管理

カメラを追加する

本製品はカメラとレコーダがペアリングされた状態で出荷されるため、電源を入れると自動で接続を開始します。その為、カメラを追加する設定は通常不要ですが、カメラ交換したり、電波の届かない場所のカメラを有線で繋ぎたい場合にはカメラを追加する必要があります。



マウスを右クリックしてメインメニューを表示させて、ビデオ管理を選択します。カメラの追加にはマッチコードと自動追加の2種類があります。マッチコードはカメラの無線ペアリングを行う際に使用します。自動追加はLANケーブルでカメラを接続する際に使用します。



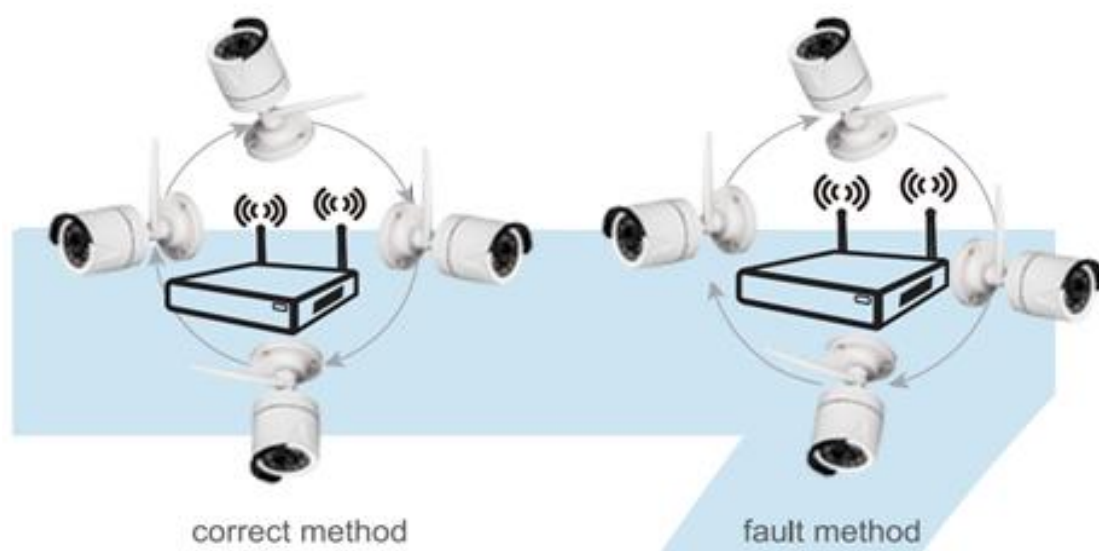
WIFI の接続可能範囲を伸ばす

無線電波は使用している環境に依存することがあります。例えばカメラの位置がレコーダーから非常に遠い場合や厚い壁や窓が障害になることもあります。以下の3つの方法で障害物を回避したり、接続可能な距離を伸ばすことができます。

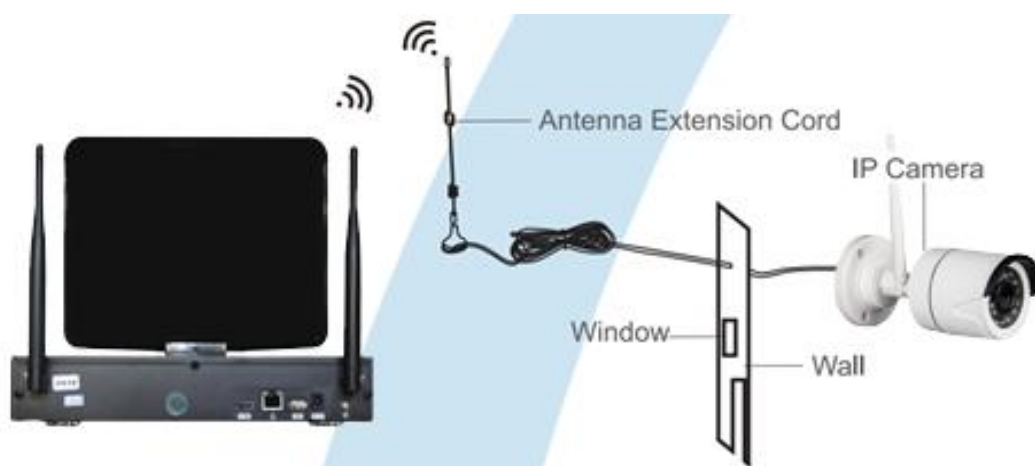
1、 アンテナの位置を正しく調節する

電波はレコーダを中心にして、円形に伝送されます。レコーダのアンテナはまっすぐ伸ばします。カメラ側のアンテナは円形に伝送される電波に対して平行になるように設置します。

※ 実際には無線は目に見えませんが、アンテナを動かして電波の感度を確認してください。



2、延長アンテナ（別売）を使用する



窓や壁などに遮られて電波が届かない場合、カメラのアンテナの代わりに別売の延長アンテナをカメラに接続して、壁や窓とカメラの間をアンテナコードで通す事で電波を受信しやすくすることができます。

3、リピーター機能を使用する



カメラをレコーダから遠い場所に設置すると、電波が届かないことがあります。本機ではレコーダから近い場所にあるカメラを中継して遠い場所のカメラまで電波を中継するリピータ機能があります。

リピーターの設定

Step 1: マウスの右クリックでメニューを表示させてビデオ管理からリピータをクリック



Step 2: リピーターを追加

以下の表示の+のアイコンをクリックしてリピートさせるカメラを選択します。



Step 3: 以下の表示の場合、Ch1がNVRに直接接続されています。Ch2はCH 1 を通してリピートされており、CH 3 はCH 1 を通してCH2からリピートされています。



Step 4: 適用のアイコンをクリックして、設定変更が反映されているか確認してください。



リピータの削除

削除したいチャンネルの箇所にマウスポインターを移動させて、左クリックで削除出来ます。削除後、適用をクリックして反映を確認できます。最後にOKのアイコンをクリックします。

システム設定

NVRの各種設定を行います。

一般設定

一般設定のメニューより下記の項目を変更できます。



①自動ログアウト

一定時間操作がない場合、自動的にログアウトを行います。

②キー音

使用しません

③言語

NVRの使用言語を設定します。

④キータイプ

使用しません。

⑤リモートID

使用しません。

⑥ブートウィザード

次回起動時にクイックセットアップを起動します。

⑦表示IDのプレビュー

ライブ画面上に、リモートアクセス時のID表示を行います。

⑧表示時間プレビュー

ライブ画面上に、日時表示を行います。

⑨自動画面オフ

一定時間操作がない場合、自動的に画面表示をオフにします。

時間設定

時間設定のメニューより下記の項目を変更できます。



①タイムゾーン

タイムゾーンを指定します。

②日付の形式

日付の表示形式を設定します。

③システム日付

システムの年月日を設定します。

④システム時刻

システムの時分秒を設定します。

⑤同期時刻

定期的に自動時刻補正を行います。

※ネットワーク接続時のみ

⑥時刻形式

時刻の表示単位を設定します。

画面設定

NVRの画面設定を行います。



①OSDアルファ

メニュー画面の透過率を設定します。

②解像度

解像度を設定できます。

③自動スイッチ

指定した秒数ごとに、チャンネル1→チャンネル2→チャンネル3→チャンネル4と画面を切り替えます。ビデオロスやスキップを入れた場合は、カメラが繋がっているチャンネルのみ表示します。

HDD設定

NVRのモニター設定を行います。



①上書き

録画容量がいっぱいになった場合、古いデータから上書きして録画します。

②フォーマット

ハードディスク内のデータを全て消去します。

③自動データ削除設定

指定した日数より前の録画データを自動的に削除します。

セットアップエラー

本製品では使用しません。



録画設定

録画設定

NVRの録画設定を行います。



※初期設定の場合は、上記24時間常に録画する設定となっています。

①チャンネル

録画設定を行うカメラチャンネルを選択します。

②録画方式

スケジュールで指定した時間の録画方法を選択できます。

時間（赤） = 指定した時間を常に録画します。
モーション（緑） = 指定した時間にカメラ映像に動きがあった時のみ録画をします。
アラーム = 使用しません。

③スケジュール

録画を行う時間を指定します。

②録画方式をクリックした後、録画したい時間のマスをクリックまたはドラッグすることで設定を行うことができます。

④リセット

指定した録画スケジュールを一括削除します。

スケジュール録画を設定する場合は、必ずリセットを行ってください。

⑤コピー先

設定した録画内容を他のカメラチャンネルにも設定できます。

アラーム設定

本製品では使用しません。



ネットワーク設定

ネットワーク設定

NVRのネットワーク設定を行います。



①DHCP

DHCP設定の有効/無効を選択します。

②P2P

P2P設定の有効/無効を選択します。

③IP アドレス

NVRのIPアドレスを指定します。

※DHCP有効時は操作不可

④サブ ネット

NVRのサブネットマスクを指定します。

※DHCP有効時は操作不可

⑤ゲートウェイ

NVRのゲートウェイを指定します。

※DHCP有効時は操作不可

⑥MAC アドレス

NVRのMACアドレスを指定します。

⑦優先DNS

優先DNSサーバーを指定します。

⑧Webポート

ポート番号を指定します。

⑨ネットワーク帯域幅

ネットワーク帯域幅が表示されます。

⑩ネットワーク診断情報

有効にすることでネットワーク状態が表示されます。

DDNS設定

NVRへDDNS設定を行います。



FTP設定

本製品では使用しません。



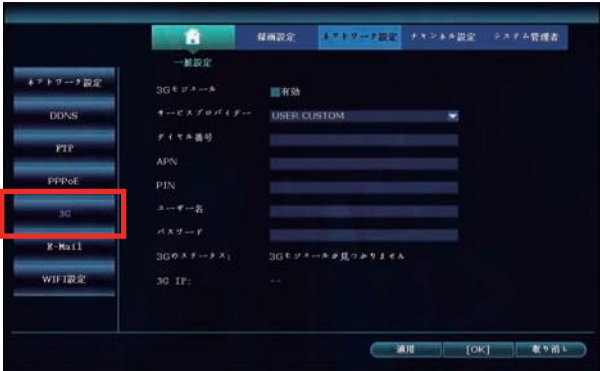
PPPoE設定

本製品では使用しません。



3Gモジュール設定

本製品では使用しません。



E-Mail設定

モーション検知時のE-Mail設定を行います。



①E-Mailの機能

E-Mail通知設定の有効/無効を選択します。

②SMTP サーバー

SMTPサーバーを入力します。

③ポート

ポートを入力します。

④ユーザー名

メールサーバーのユーザー名を入力します。

⑤パスワード

メールサーバーのパスワードを入力します。

⑥暗号化の種類

暗号化の種類を選択します。

⑦送信者

メールの送信元アドレスを入力します。

⑧受信者 1

メールの送信先アドレスを入力します。

⑨受信者 2

メールの送信先アドレスを入力します。

⑩タイトル

通知メールの件名を入力します。

⑪インターバル

メール送信の最低間隔を入力します。

⑫ヘルスメッセージ間隔

メール送信に問題ないか確認メールを送信します。

Wifi設定

本製品では使用しません。



チャンネル設定

エンコード設定

カメラのエンコード状態を表示します。



PTZ設定

本製品では使用しません。



チャンネルOSD設定

ライブ画面上のOSD表示設定を行います。



①チャンネル

色彩表示を変更するチャンネルを選択します。

②カメラタイトル

ライブ画面上に表示されるチャンネル名を入力します。

③状態表示

使用しません。

④接続品質

ライブ画面上の通信状況表示の有効/無効を選択します。

ビデオ検出

モーション検知/カメラ断線（ビデオロス）に関する設定を行います。※アラーム入力は使用しません



①チャンネル

ビデオ検出設定を行うチャンネルを指定します。

②検出

検出条件の有効/無効を設定します。

（モーション/ビデオロス）

③感度

モーション検知の反応しやすさを設定します。
「最高」の場合は小さな動きでも反応しやすく「最低」の場合は大きな動きのみ反応します。

※モーション設定時のみ表示

④アラーム時間

アラームの連続動作時間を指定します。

⑤コピー先

ビデオ検出設定を他チャンネルにコピーできます。

ハンドル

検出が行われた際の動作を選択します。

アラーム = 使用しません。
ブザー = NVRより警告音を発生します。
E-Mail通知 = E-Mail設定を行ったメールアドレスへメール送信を行います。
APPアラーム = 使用しません。

アーマーミング時間

検出動作を行う時間帯を指定します。

※録画時間の指定とは別になります。



エリア編集

モーション検出を行う範囲を指定することができます。
初期設定では全ての範囲が検知範囲となっています。

該当箇所を左クリックすることで1か所ずつの検出有効（青）
検出無効（透明）を設定できます。

右クリックを行うことで一括での検出設定、設定の終了が行えます。



システム管理者 バージョン情報

NVRのバージョン情報を確認できます。



①サービスサイト

パソコンで遠隔監視を行う場合のURLを表示します。

②電話のクライアント

スマートフォンで遠隔監視を行う場合のアプリを表示します。

システムログ

システムのログを確認できます。



①イベントタイプ

ログ項目を指定して表示します。

②開始時間～終了時間

表示したいログの期間を指定します。

ユーザー管理

ユーザーのアカウント情報を設定します。



アップグレード

本製品では使用しません。



メンテナンス

本製品では使用しません。



工場出荷時設定

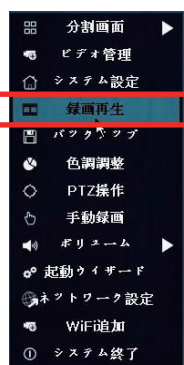
NVRの各設定を工場出荷時の初期設定に戻すことができます。

1. 設定を初期化したい項目に‘マーク’をつけます。
2. OKをクリックすることで設定が初期化されます。



録画映像の再生

NVRに録画した映像を再生します。



ライブ画面よりマウスを右クリックして、メニューを表示させます。

録画再生をクリックすることで再生画面が表示されます。

クイック録画再生手順

- ①再生したい録画映像の撮影日を選択します。
(録画データが存在する日付は緑文字で表示されます)
- ②再生したい録画映像の時間を指定します。
- ③検索をクリックすることで、①～②にて指定した録画映像の再生が開始されます。



再生画面の表示は下図の通りとなります。



メニューアイコン	アイコン名	機能
	再生	クリックすることで等倍再生を行います。
	一時停止	クリックすることで映像を停止します。
	早送り	倍速で再生を行います。 クリックするたびに倍速の速度を変更できます。 (x2 / x4 / x8)

■バックアップ

録画した映像をUSBメモリーへバックアップします。

NVRへUSBメモリーを取り付けます。



ライブ画面よりマウスを右クリックして、メニューを表示させます。
バックアップをクリックします。

- ①バックアップするカメラチャンネルを選択します。
- ②どの録画モードで撮影されたデータか選択します。
- ③バックアップしたいデータの日時を入力します。

④検索をクリックすると、⑤指定した日時に存在する録画データが表示されます。
表示されたデータより、バックアップしたいデータに‘マーク’をつけて、⑥バックアップをクリックすることでバックアップが行われます。



■ 色彩調整

NVRの色彩を調整します。



ライブ画面よりマウスを右クリックして、メニューを表示させます。

色彩調整をクリックします。

①色相

NVRの色合いを調整します。

②明るさ

NVRの明るさを調整します。

③彩度

NVRの彩度を調整します。

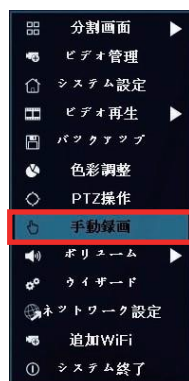
④コントラスト

NVRのコントラストを調整します。

※調整後、画面への反映まで1～2秒かかる場合があります。

■ 手動録画

ライブ画面の映像を任意のタイミングで録画します。



ライブ画面よりマウスを右クリックして、メニューを表示させます。

手動録画をクリックします。

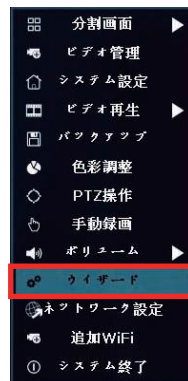


手動録画を開始させたいチャンネルに‘マークをつけてOKをクリックすることで録画が開始されます。

停止する場合は‘マークを外してOKをクリックします。

■ウィザード

初期設定に必要な項目を連続で呼び出します。



ライブ画面よりマウスを右クリックして、メニューを表示させます。
ウィザードをクリックします。

スマートフォンでの遠隔監視を利用する場合は、お持ちスマートフォンのOSに対応したクライアントリンクのQRコードを読み取り、専用アプリ「IP Pro」をダウンロードしてください。
ダウンロードした「IP Pro」でIDを読み取ることで、スマートフォンからもライブ画面の映像を見ることができます。
※P〇〇モバイルアプリ参照

上記完了もしくは遠隔監視を使用しない場合は、次へをクリックします。



一般設定を選択します。選択後、次をクリックします。

①タイムゾーン

タイムゾーンを指定します。

②日付時刻

日付と時刻を指定します。

指定後適用をクリックしてください。

③同期時刻

をつけるると自動的に時刻の補正を行います。

④日付の形式

日付時刻の表示形式を選択します。

⑤言語

使用する言語を選択します。





ネットワークの設定を行います。

NVRがルーターと接続されている場合は、自動的にネットワークに接続されます。（左図：ネットワーク状態参照）ネットワーク状態を確認後、OKをクリックしてください。

※LANケーブルを接続してもネットワーク状態が正常に表示されない場合は、ケーブルの再接続、ルーターの設定の確認をしてください。



ハードディスクの状態を表示します。

ハードディスクが未フォーマットの場合、録画が行われないため、フォーマットを実行してください。

ハードディスク状態を確認後、完全をクリックすることで設定完了となります。

■システム終了

NVRのログアウト、シャットダウンを行います。



ライブ画面よりマウスを右クリックして、メニューを表示させます。

システム終了をクリックします。



①ログアウト

現在ログインしているユーザーからログアウトを行います。

②再起動

NVRを再起動します。

③画面表示オフ

モニターの表示をオフにします。

④シャットダウン

NVRの電源を切ります。